

『エスト王国』のジラール・リッターは第一王子直属の騎士団長を勤めており、彼の實力は隣国にも剣技だけでなく略家としても有名であった。

また、彼の容姿も整っており、女性からはもちろん、騎士団の中でも人気が高く、国内外問わずファンがいたという。

しかし、彼の硬派な性格故か浮いた話は全くなく、周りからは仕事熱心で知られていた。

これまで付き合った女性はいたが、そういった行為をするまでに愛想を尽かされて別れてしまっていた。

最近、ジラール率いる騎士団の管理している山で盗賊が出ると噂があり、その賊はこれまでも何度か対峙し捕縛してきたのだが、賊のカシラはいつも逃げ足が速く捕まえることができずにいた。

「今度こそ捕まえてやる」

ジラールは聖剣を携え、部下たちのいるもとへ向かった。

——ノルステ山

山の麓に着くなり、さっそく盗賊たちが現れ襲いかかってきた。

しかし、ジラールはその奇襲を読んでおり、作戦通りではあったが、部下たちとともに一人、また一人と捕まえていくが手応えがない。

「（予想より数は少ない。それにわざと負けているようだ・・・罠か？）」